

PISA2018とPISA2022の比較によるキャリア意識の変化

～COVID-19の影響の可能性～

Occupation at age 30' changed after COVID-19

大浦 絢子*

OURA Ayako

Abstract

Private surveys have shown that the spread of COVID-19 has changed the way people work and their view of careers and that they have become more interested in socially significant careers and the ICT and medical fields. This study re-examined this reality using data from the PISA survey, a large-scale survey with a response rate of over 80% that examined the occupations 15-year-old Japanese students would like to have when they turn 30. The study analyzed 5,766 statements about students' occupational aspirations from the national data of the PISA 2018 and PISA 2022 surveys. We compared the situation in each year with the aggregate totals for 2018 and 2022 and showed trends by occupational field and category alone. The results showed that medical/nursing/healthcare had the highest percentage of responses in 2018 and 2022, followed by childcare/education. Medical/nursing/healthcare will increase by 2.6% from 2018 to 2022, characterized by an increase in the number of respondents interested in becoming a nurse. However, childcare/education declined by 2.0%. Considering only the increase in the percentage of responses, the increase in aspirations for digital occupations was notable. Additionally, responses in PISA 2022 emphasized the desire to contribute to society and self-actualization. These results suggest that this may reflect changes in social values and work styles due to the pandemic. This study did not analyze the relationship between desired occupations and COVID-19. Therefore, future research must address this trend.

* 国立教育政策研究所 フェロー

1. 背景・目的

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受け、多くの人々がキャリアに対する希望や目標を再評価する機会を持った¹⁾。例えば、在宅勤務やハイブリッドワークの普及により、職場への通勤が必須でない仕事への関心が高まったこと、ワークライフバランスを重視する傾向が強まり、柔軟な働き方を求める人が増えたことが挙げられる^{2,4)}。例えば、内閣府の調査によると、感染拡大前（2019年12月）に比べて、御自身の「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識に変化はありましたかという質問に対し、2020年の回答は全体の50.4%が「感染症拡大前よりも、生活を重視するように変化」と回答した⁵⁾。

また、景気が不安定になると、学生の公務員志向や資格取得志向が高まるといわれている⁶⁾。新型コロナウイルス感染症の影響による、自身の公務員志望度の変化について尋ねたところ、「志望度が上がった」（32.4%）が、「志望度が下がった」（13.2%）を上回っている⁷⁾。特に若い世代で、リスクの少ないキャリアを選択する傾向が強まった⁸⁾。それから、パンデミックを経験し、人々は「自分の仕事が社会に与える影響」や「自己実現」を重視するようになり⁹⁾、医療従事者や研究職、環境保護関連の職業など、社会的意義の高いキャリアに対する関心が高まった。また、コロナ禍での収入減少や不確実性の増加から、副業を始める人や新しいスキルを習得する動きが見られた⁸⁾。特に、IT関連スキルや語学の習得を通じて、リモートで働けるグローバルな職種を目指す人が増加した⁸⁾。

PISA2022の報告書では、15歳に回答を依頼した「30歳の時の職業」を分析した結果を一部まとめている⁹⁾。15歳の進路決定には、職業に対する世間のイメージが影響することが報告されており、各国の経済成長と国際競争力は、デジタル分野の職業選択が鍵となることも示唆されている⁹⁾。ICT関連の職業（ソフトウェアやウェブ開発者、データマイナー）については、2018年から2022年にかけて、PISA参加国・経済圏の半数でその割合が増加している⁹⁾。日本でも、両分野の職業については統計的に有意に増加していることが報告されている⁹⁾。同様に注目されたのが医療保健分野の職業であった。参加国・経済圏の約25%が医療保健分野の職業選択者が増加し、約25%が減少した。日本ではこの割合が増加したことが報告された。

コロナ禍を機に、生徒たちの職業選択に変化が生じたことは多くの報告がある。職業選択の変化は、個人の生活だけでなく、社会全体の経済や文化にも広範な影響を及ぼすことが予想され、教育とキャリアに与えた長期的な影響や、今後の教育・雇用政策の方向性を示唆することにもつながる。

OECDによる「30歳の時の職業」の分析は、2018年と2022年の変化として、コロナ禍の影響を示唆した職業選択の変化について記述されたが、報告書で取り上げられた職業分野は、医療保健分野やデジタル分野に限定され、他の職業分野について詳細は記されていない。本設問の回答はテキスト回答であり、その詳細の分析・集計の手順や回答された職業の分類も明らかにされていない。そこで本報告では、PISA2022、PISA2018の日本の回答結果を独自に集計・分析することで、15歳の生徒が希望する職業の傾向とコロナ禍を境とする2018年から2022年に変化が生じたかについて記述した。

2. 方法

本稿で検討対象としたのは、OECD生徒の学習到達度調査2018年調査（以降、PISA2018）及び2022年調査（以降、PISA2022）の生徒質問調査のうち、設問「あなたは30歳くらいになったら、どんな

職業についていると思いますか。(以降、30歳の時の職業)」に対する記述回答データ（PISA2018 調査の全データ 6,109 件中回答のあった 5,138 件、PISA2022 調査の全データ 5,766 件中回答のあった 5,094 件）とした。回答データは、回答の多い語をカテゴリの基準として、基準となる語が含まれるもの、同義の語を分類基準としたアフターコーディングを行い、厚生労働省編職業分類、大分類に従った 15 分類（表 1）及び記述の多い職業名をコードに割り当てて分類し、職業コードごとに集計した。

表 1. 厚生労働省編職業分類、大分類・中分類一覧

大分類項目	中分類項目
管理的職業	法人・団体役員、法人・団体管理職員、その他の管理的職業
研究・技術の職業	研究者、農林水産技術者、開発技術者、製造技術者、建築・土木・測量技術者、情報処理・通信技術者（ソフトウェア開発）、情報処理・通信技術者（ソフトウェア開発を除く）、その他の技術の職業
法務・経営・文化芸術等の専門的職業	法務の職業、経営・金融・保険の専門的職業、宗教家、著述家、記者、編集者、美術家、写真家、映像撮影者、デザイナー、音楽家、舞台芸術家、図書館司書、学芸員、カウンセラー（医療・福祉施設を除く）、その他の法務・経営・文化芸術等の専門的職業
医療・看護・保健の職業	医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、医療技術者、栄養士、管理栄養士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師、その他の医療・看護・保健の専門的職業、保健医療関係助手
保育・教育の職業	保育士、幼稚園教員、学童保育等指導員、保育補助者、家庭的保育者、学校等教員、習い事指導等教育関連の職業
事務的職業	総務・人事・企画事務の職業、一般事務・秘書・受付の職業、その他の総務等事務の職業、電話・インターネットによる応接事務の職業、医療・介護事務の職業、会計事務の職業、生産関連事務の職業、営業・販売関連事務の職業、外勤事務の職業、運輸・郵便事務の職業、コンピュータ等事務用機器操作の職業
販売・営業の職業	小売店・卸売店店長、販売員、商品仕入・再生資源卸売の職業、販売類似の職業、営業の職業
福祉・介護の職業	福祉・介護の専門的職業、施設介護の職業、訪問介護の職業
サービスの職業	家庭生活支援サービスの職業、理容師、美容師、美容関連サービスの職業、浴場・クリーニングの職業、飲食物調理の職業、接客・給仕の職業、居住施設・ビル等の管理の職業
警備・保安の職業	警備員、自衛官、司法警察職員、看守、消防員、その他の保安の職業
農林漁業の職業	農業の職業（養畜・動物飼育・植木・造園を含む）、林業の職業、漁業の職業
製造・修理・塗装・製図等の職業	生産設備オペレーター（金属製品）、生産設備オペレーター（食料品等）、生産設備オペレーター（金属製品・食料品等を除く）、機械組立設備オペレーター、製品製造・加工処理工（金属製品）、製品製造・加工処理工（食料品等）、製品製造・加工処理工（金属製品・食料品等を除く）、機械組立工、機械整備・修理工、製品検査工（金属製品）、製品検査工（食料品等）、製品検査工（金属製品・食料品等を除く）、機械検査工、生産関連の職業（塗装・製図を含む）、生産類似の職業
配送・輸送・機械運転の職業	配送・集荷の職業、貨物自動車運転の職業、バス運転の職業、乗用車運転の職業、その他の自動車運転の職業、鉄道・船舶・航空機運転の職業、その他の輸送の職業、施設機械設備操作・建設機械運転の職業
建設・土木・電気工事の職業	建設躯体工事の職業、建設の職業（建設躯体工事の職業を除く）、土木の職業、採掘の職業、電気・通信工事の職業
運搬・清掃・包装・選別等の職業	荷役・運搬作業員、清掃・洗浄作業員、包装作業員、選別・ピッキング作業員、その他の運搬・清掃・包装・選別等の職業

参考『令和4年版 厚生労働省編職業分類表』より筆者が作成

具体的には、大分類に含まれる中分類・小分類の職業名のうち適合するものがあった場合を対象とした。回答は複数の職業名の記載も可能であり、その場合は該当する職業コード全てに振り分けた。記述内容より、分類が難しかったものは「その他」へ分類、回答意図が設問と異なるもの等は除外した。集計は PISA2018 調査、PISA2022 調査の調査年別、回答者の性別に算出した。

なお、本分析に用いたデータは、質問調査に回答のあった 5,766 件の国内のデータを分析対象とし、OECD より公開されているデータ数とは数件の差がある。

3. 結果・考察

アフターコーディングの結果、50のコードに分類された(表2)。

表2. コーディング後の職業分類と回答例

※職業名称、資格名称

コーディング後の職業分類	回答例
スポーツ教育	サッカーを教える、ダンスの講師、スポーツインストラクター
スポーツ医療	スポーツトレーナー、柔道整復師、理学療法士(スポーツ選手の怪我のケア)
職業アスリート	総合格闘家、プロサッカー選手、バスケットボールプレイヤー
工業系	工場などでものを作る、配線業者、エンジニア、整備士、技術士、電気工事士
建築士/建設/設計/インテリア	建築士、インテリアコーディネーター、建築業で家を設計したい
IT関係/AI関係	プログラマー、AIエンジニア、ITエンジニア、システムエンジニア
デザイン	★「デザイン」のみ表記されているもの
YouTuber/SNS/動画編集	動画配信、ストーリーマー、YouTuber、SNSインフルエンサー
ゲーム関連	ゲーム制作、ゲームクリエイター、プロゲーマー、ゲームプロデューサー
音楽関係	音楽の先生、ピアノを使う仕事、バンド、作曲家、音楽療法士
芸能関係	メディア/出版/声優 /女優/俳優/アイドル/歌手
イラストレーター等	アニメーター、漫画家、編集者、イラストレーター、ライター
英語関連/語学関連/国際関連	英語の先生、ジャイカ、国際的な仕事、英語を使った仕事、国連職員
習いごと教室	ECCの先生、習字の先生、塾講師、ダンスの先生、ピアノ教師
通訳	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
翻訳	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
看護教諭/保健師	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
教員(小中高校教員のみ)	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
科学者/研究者/大学教授	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
保育士/幼稚園教諭	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
介護・福祉	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
看護師	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
獣医・動物看護師	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
医師	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
助産師	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
作業療法士、理学療法士、言語聴覚士	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
薬剤師	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
心理士/カウンセラー	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
公務員(警察・自衛官・消防士も含む)	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
警察/自衛官 /消防士	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
法律/工業	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
会社員	銀行員、ホワイト企業、サラリーマン、OL、一般企業
投資家	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
政治家	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
経営者	飲食店経営、社長、会社を設立
食品を扱う職業	パン屋、調理師、料理人、パティシエ、栄養士、宇宙飛行士
航空関係	CA、パイロット、空港のグラウンドスタッフ、
商品開発	ソフトウェアの開発、化粧品を開発、薬を開発、食品開発
接客業/ホテル/販売/旅行会社	販売員、接客サービス、ホテルマン、カフェの店員、旅行会社
芸術/アート/図書関係	学芸員、司書、芸術家、画家
気象予報士	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
動物関連/自然/花屋	トリマー、水族館の飼育員、動物トレーナー、自然保護学者
農業/漁業/林業	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
銀行・金融	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
イベント/エンターテインメント関係	パークのキャスト、ライブの設営、芸人、イベント運営
アパレル/ファッション/美容	ネイリスト、ファッションデザイナー、ヘアメイク、美容部員
ブライダル	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
介護/福祉関係	ウェディングプランナー、ブライダルアテンダー
アルバイト・フリーター	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語
主婦	★該当する語が含まれるもの、該当する語と同義の語

生徒によって回答形式が、業種名称、職種名称、資格名称など多様であったことから、コードの階層は統一されていない。

3-1. PISA2022、PISA2018の「30歳の職業」回答集計

まず、厚生労働省編職業分類に従った回答分類をみると表3及び図1のようになった。割合は、PISA2018、PISA2022それぞれの総記述数(5,138件、5,094件)を分母とした各職業コードの該当数で算出した。

表3. 厚生労働省編職業分類による集計一覧(%)

PISA2018の総記述数5,138件、PISA2022の回答数5,094件

	管理的職業				研究・技術の職業				法務・経営・文化芸術等の専門的職業				医療・看護・保健の職業			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	6	0.1	12	0.2	62	1.2	124	2.4	267	5.2	282	5.5	646	12.6	735	14.4
男	34	0.7	50	1.0	248	4.8	297	5.8	232	4.5	231	4.5	235	4.6	264	5.2
男女不明	0	0.0	0	0.0	1	0.0	2	0.0	1	0.0	4	0.1	0	0.0	2	0.0
合計	40	0.8	62	1.2	311	6.1	423	8.3	500	9.7	517	10.1	881	17.1	1001	19.7

	保育・教育の職業				事務的職業				販売・営業の職業				福祉・介護の職業			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	461	9.0	340	6.7	265	5.2	197	3.9	18	0.4	16	0.3	48	0.9	57	1.1
男	220	4.3	235	4.6	232	4.5	200	3.9	6	0.1	11	0.2	18	0.4	17	0.3
男女不明	0	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	681	13.3	577	11.3	497	9.7	397	7.8	24	0.5	27	0.5	66	1.3	74	1.5

	サービスの職業				警備・保安の職業				農林漁業の職業				製造・修理・塗装・製図等の職業			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	345	6.7	251	4.9	32	0.6	20	0.4	28	0.5	51	1.0	29	0.6	23	0.5
男	130	2.5	96	1.9	105	2.0	79	1.6	40	0.8	46	0.9	145	2.8	127	2.5
男女不明	0	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0
合計	475	9.2	349	6.9	137	2.7	99	1.9	68	1.3	97	1.9	175	3.4	151	3.0

	配送・輸送・機械運転の職業				建設・土木・電気工事の職業				運搬・清掃・包装・選別等の職業			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	1	0.0	0	0.0	13	0.3	12	0.2	0	0.0	0	0.0
男	5	0.1	5	0.1	87	1.7	87	1.7	2	0.0	3	0.1
男女不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	6	0.1	5	0.1	100	1.9	100	2.0	2	0.0	3	0.1

PISA2022のみみると、最も回答が多かった職業分類が、医療・看護・保健の職業19.6%、次いで保育・教育の職業で11.3%、法務・経営・分家芸術等の専門的職業が10.0%であった。法務・経営・分家芸術等の専門的職業には、Webデザイナー、イラストレーター、アニメーター、YouTuber、アーティスト、弁護士、スポーツ選手などが含まれ、いわゆる“クリエイティブ職”と呼ばれる職種がここに含まれる。なお、質問文「あなたは30歳くらいになったら、どんな職業についていると思いますか。職業の名称を入力してください。」への回答として、会社役員や課長相当職以上、管理的公務員などが該当する“管理的職業”、“販売・営業の職業”、“配送・運送・機械運転の職業”、“運搬・清掃・包装・選別等の職業”に対応する職業名は15歳にはイメージがしにくいためか、記述がほとんどなかった。“会社員”は“事務的職業”に分類される。

PISA2018、PISA2022を比較すると、回答割合が増加しているのは、“医療・看護・保健の職業”、“法務・経営・分家芸術等の専門的職業”、“研究・技術の職業”、“福祉・介護の職業”であった。国際報告書では、コロナ禍で、医療従事者が必要不可欠と認識された一方、長時間労働やストレスの多さ、看護師・補助スタッフの給与の低さが見える化したとし、医療・看護・保健の職業を希望する生徒の割合は国ごとにまちまちであったことを報告している。

続いて、コーディングを行い集計したコード別職業分類の一覧を表4に示した。

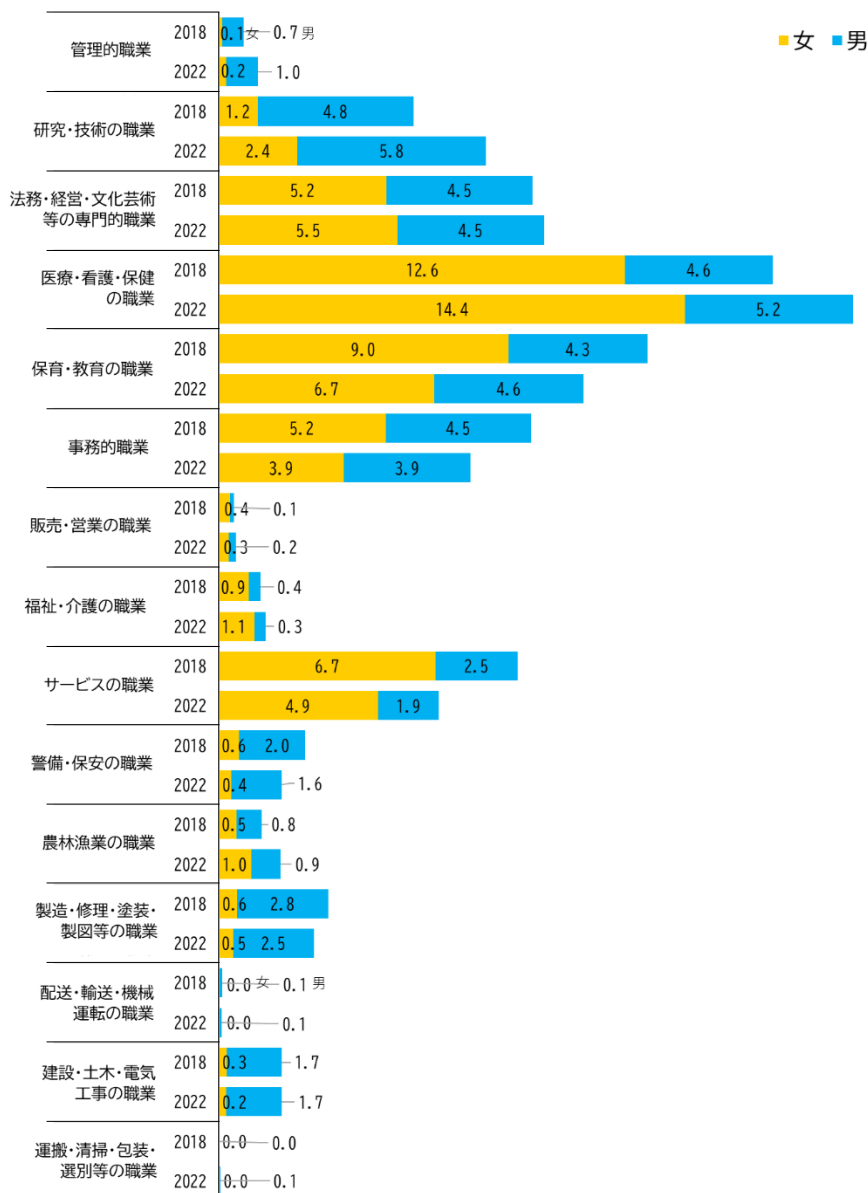


図 1. 厚生労働省編職業分類による回答割合 (%)

表 4. コード別職業分類の集計一覧 (%)

PISA2018の総記述数5,138件、PISA2022の回答数5,094件

	スポーツ教育				スポーツ医療				指導者				職業アスリート				スポーツ関連(プレーヤー・トレーナー等)			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	14	0.3	17	0.1	17	0.3	32	0.6	31	0.6	39	0.8	7	0.1	3	0.1	49	1.0	55	1.1
男	11	0.2	34	0.2	34	0.7	35	0.7	45	0.9	48	0.9	36	0.7	49	1.0	130	2.5	168	3.3
男女不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	25	0.5	17	0.3	51		67	1.3	76	1.5	87	1.7	43	0.8	52	1.0	179	3.5	223	4.4

	英語関連/語学関連/国際関連				教育関係(教師/養護教諭/塾講師)				習いごと教室				養護教諭/保健師				教員(小中高教員のみ)			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	64	1.2	93	1.8	221	4.3	247	4.8	16	0.3	11	0.2	21	0.4	33	0.6	148	2.9	143	2.8
男	22	0.4	31	0.6	200	3.9	225	4.4	1	0.0	7	0.1	1	0.0	0	0.0	145	2.8	154	3.0
男女不明	0	0.0	1	0.0	0	0.0	3	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	1	0.0
合計	86	1.7	125	2.5	421	8.2	475	9.3	17	0.3	18	0.4	22	0.4	34	0.7	293	5.7	298	5.9

PISA2018 と PISA2022 の比較によるキャリア意識の変化～COVID-19 の影響の可能性～

	科学者/研究者/ 大学教授				保育士/幼稚園教諭				医療・看護・保健の職業				スポーツ医療				養護教諭/保健師			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	22	0.4	44	0.9	260	5.1	138	2.7	646	12.6	735	14.4	17	0.3	32	0.6	21	0.4	33	0.6
男	49	1.0	60	1.2	15	0.3	5	0.1	235	4.6	264	5.2	34	0.7	35	0.7	1	0.0	0	0.0
男女不明	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
合計	71	1.4	105	2.1	275	5.4	143	2.8	881	17.1	1001	19.7	51	1.0	67	1.3	22	0.4	34	0.7

	看護師				獣医・動物看護士				医師				助産師				作業療法士、理学療法士、 言語聴覚士			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	243	4.7	315	6.2	18	0.4	17	0.3	46	0.9	16	0.3	36	0.7	36	0.7	35	0.7	47	0.9
男	16	0.3	37	0.7	9	0.2	24	0.5	53	1.0	30	0.6	0	0.0	0	0.0	36	0.7	37	0.7
男女不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	259	5.0	352	6.9	27	0.5	41	0.8	99	1.9	46	0.9	36	0.7	36	0.7	71	1.4	84	1.6

	薬剤師				心理士/カウンセラー				工業系/自動車/製造/ エンジニア/機械/鉄鋼/ 電気工事				建築士/建設/設計/ インテリア				IT関係/AI関係			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	65	1.3	83	1.6	31	0.6	35	0.7	18	0.4	8	0.2	44	0.9	48	0.9	13	0.3	22	0.4
男	41	0.8	48	0.9	7	0.1	5	0.1	192	3.7	125	2.5	107	2.1	124	2.4	107	2.1	136	2.7
男女不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0	0	0.0	1	0.0	2	0.0	0	0.0	1	0.0
合計	106	2.1	131	2.6	38	0.7	41	0.8	211	4.1	133	2.6	152	3.0	174	3.4	120	2.3	159	3.1

	Webデザイナー/ グラフィックデザイナー/ 映像クリエイター				Webデザイナー/ グラフィックデザイナー/ 映像クリエイター				YouTuber/SNS/動画編集				ゲーム関連				アニメーター/漫画家/ 編集者/イラストレーター/ ライター			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	14	0.3	31	0.6	7	0.1	23	0.5	4	0.1	6	0.1	3	0.1	9	0.2	75	1.5	79	1.6
男	67	1.3	76	1.5	22	0.4	45	0.9	10	0.2	4	0.1	36	0.7	44	0.9	42	0.8	37	0.7
男女不明	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	1	0.0
合計	81	1.6	108	2.1	29	0.6	68	1.3	14	0.3	10	0.2	39	0.8	54	1.1	117	2.3	117	2.3

	公務員(警察・自衛官・ 消防士も含む)				警察/自衛官/消防士				法律/士業				会社員(会社勤めと わかる記述も含む)				銀行・金融			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	145	2.8	103	2.0	30	0.6	19	0.4	17	0.3	39	0.8	285	5.5	229	4.5	6	0.1	16	0.3
男	203	4.0	217	4.3	103	2.0	78	1.5	40	0.8	36	0.7	348	6.8	282	5.5	13	0.3	19	0.4
男女不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	348	6.8	320	6.3	133	2.6	97	1.9	57	1.1	76	1.5	633	12.3	512	10.1	19	0.4	35	0.7

	政治家				経営者				投資家				飲食関係/食品/栄養関係 調理師/料理人/ パティシエ				CA/飛行機/航空/ パイロット/空港			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	1	0.0	0	0.0	5	0.1	12	0.2	0	0.0	0	0.0	143	2.8	107	2.1	54	1.1	36	0.7
男	5	0.1	6	0.1	31	0.6	46	0.9	3	0.1	4	0.1	78	1.5	65	1.3	13	0.3	25	0.5
男女不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	6	0.1	6	0.1	36	0.7	58	1.1	3	0.1	4	0.1	221	4.3	172	3.4	67	1.3	61	1.2

	商品開発/開発				接客業/ホテル/販売/ 旅行会社				芸術/アート/図書館				気象				音楽関係			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	5	0.1	56	1.1	78	1.5	58	1.1	36	0.7	38	0.7	1	0.0	4	0.1	41	0.8	35	0.7
男	18	0.4	41	0.8	47	0.9	37	0.7	10	0.2	25	0.5	3	0.1	4	0.1	17	0.3	25	0.5
男女不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	23	0.4	97	1.9	125	2.4	95	1.9	47	0.9	63	1.2	4	0.1	8	0.2	58	1.1	60	1.2

	メディア/出版/声優/女優/ 俳優/俳優/アイドル/歌手				"デザイン"のみ記載が あったもの				イベント/ エンターテインメント				アパレル/ファッション/ 美容				ブライダル			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	25	0.5	18	0.4	25	0.5	18	0.4	17	0.3	15	0.3	150	2.9	158	3.1	44	0.9	33	0.6
男	8	0.2	12	0.2	8	0.2	12	0.2	2	0.0	6	0.1	29	0.6	30	0.6	2	0.0	2	0.0
男女不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	1	0.0
合計	33	0.6	30	0.6	33	0.6	30	0.6	19	0.4	21	0.4	179	3.5	189	3.7	46	0.9	36	0.7

	動物関連/自然/花 屋				農業/漁業/林業				介護/福祉関係				英語関連/語学関連/ 国際関連				バイト・フリーター			
	2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)		2018(%)		2022(%)	
女	67	1.3	98	1.9	6	0.1	6	0.1	48	0.9	57	1.1	64	1.2	93	1.8	15	0.3	12	0.2
男	22	0.4	34	0.7	27	0.5	27	0.5	18	0.4	17	0.3	22	0.4	31	0.6	14	0.3	9	0.2
男女不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	89	1.7	132	2.6	33	0.6	33	0.6	66	1.3	74	1.5	86	1.7	125	2.5	29	0.6	21	0.4

	主婦			
	2018(%)		2022(%)	
女	69	1.3	30	0.6
男	2	0.0	0	0.0
男女不明	0	0.0	0	0.0
合計	71	1.4	30	0.6

3-2. 職業順位の変化

図2に、2018年、2022年調査の職業を、割合の大きい順に示した。複数の民間の調査結果同様、“会社員”の回答が最も多く、“公務員”、“教員”、男子の回答に多い“スポーツ関連”、女子の回答では、“看護師”、“保育士・幼稚園教諭”が記述の多かった回答であった。しかし2018年調査、2022年調査でその記述数には変化があった。

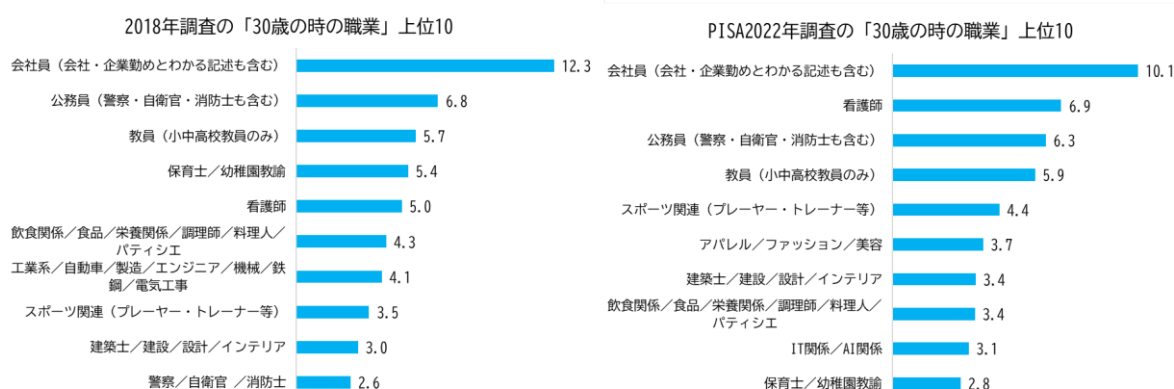


図2. PISA2018・PISA2022の「30歳の時の職業」上位10比較

まず、2022年調査で、“看護師”が2018年調査時より1.9%も増え、上位2位となった点である。コロナ禍で身近な医療現場のスタッフが自分たちの日常生活を支えるために奮闘する姿を目の当たりにし、働きがいややりがいを求める生徒が増えたと考えられる。特に看護師に関しては、コロナ禍におけるメディアの影響も大きい。コロナ禍の影響で医療現場の状況を伝える報道が増え、その中で看護師の役割に焦点を当てた記事や特集が増加した。命を守る最前線で働く姿勢、感染リスクを背負いながらの奮闘、そして医療崩壊の危機を支える重要な役割を担う医療従事者全体を象徴する存在として生徒たちに強く印象づいたのではないだろうか。

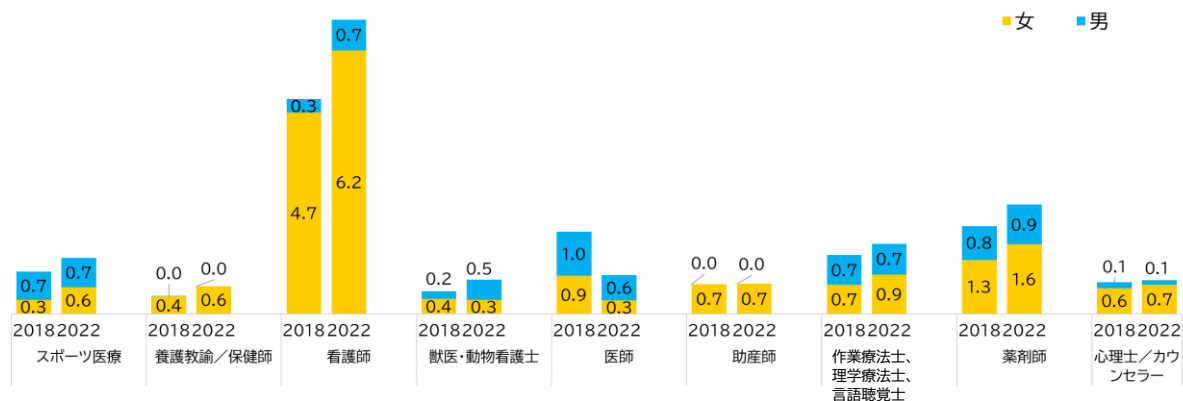
また、2022年調査では、デジタル分野の職業への関心が高まった。デジタル分野に関連する職種は、Webデザイナーやプログラマー、映像クリエイターや動画編集等の回答が含まれている。PISA国際報告書でも、参加国・経済圏の半数がICT関連の職業（ソフトウェアやウェブ開発者、データマイナーなど）に就くと予想する結果が出ている¹²⁾。

3-3. 医療・看護・保健関係の職業の回答内訳

医療・看護・保健関係の職業の内訳を図3に示した。

本分野の特徴的なところは、看護師、OT（作業療法士）・PT（理学療法士）・ST（言語聴覚士）、薬剤師、スポーツ医療を希望する割合の増加、一方で医師の希望者の減少である。景気が不安定になると、資格取得志向が高まることは先行研究により示されており、資格を必要とする専門職への関心の高まりが背景にあることが伺える⁸⁾。コロナ禍は医療職に対する意識に変化を生じさせたと

考えられるが、医師の回答割合が減少した点については、メディア報道の影響も考えられる。例えば、社会的信頼が高い新聞（朝日新聞）で、感染拡大する 2020 年を含む 5 年間（2016 年-2020 年）分の見出しを分析したところ、2020 年に前年比約 2 倍の記述件数で、かつ「看護師」の記述件数は「医師」に比べ約 1/3 と少なかった¹³⁾。また、不況に伴う安定した職業選択志向の強まりは、公務員志望やデジタル分野の職業選択を増加させた。資格取得志向の強まりを鑑みると、他の医療職種の方が医師よりも資格取得のハードルが、学費や学習面においても低い。先行研究として示すことができるデータは散見できなかったが、これらも背景の一つとして考えられる。



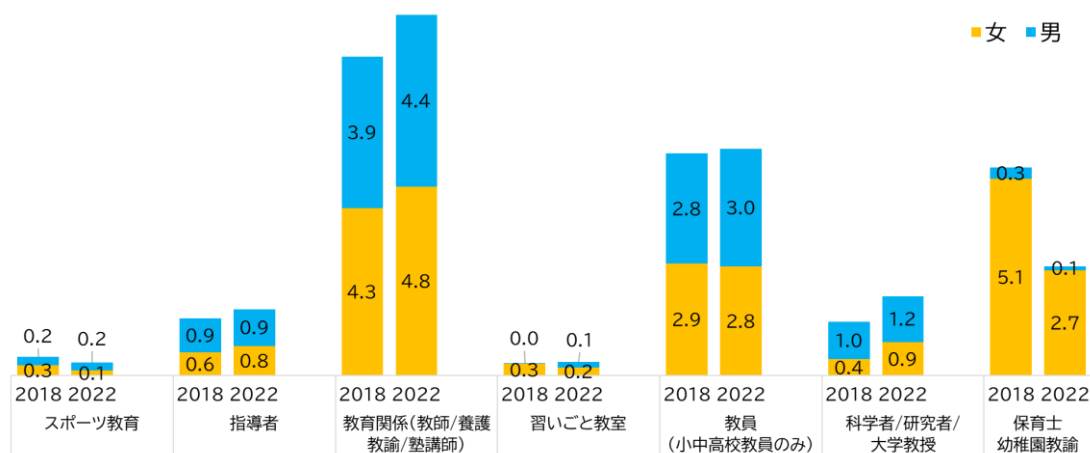
※PISA2018 の総記述数 5,138 件、PISA2022 の回答数 5,094 件

図 3. 医療・看護・保健の職業（アフターコーディングにより分類）

PISA 報告書によると、例えば、パンデミック（世界的大流行）時の医療従事者の働きは必要不可欠なものであったと認識される一方で、長時間労働やストレスの多さ、看護師や医療補助スタッフの給与の低さなどが世間に知られることとなった。この分野で働くことへの生徒の関心に関する PISA 2022 の結果も、同様にまちまちであった¹²⁾。

3-4. 保育・教育関係の職業の回答内訳

保育・教育関係の職業の内訳をみると図 4 のようになった。



※PISA2018 の総記述数 5,138 件、PISA2022 の回答数 5,094 件

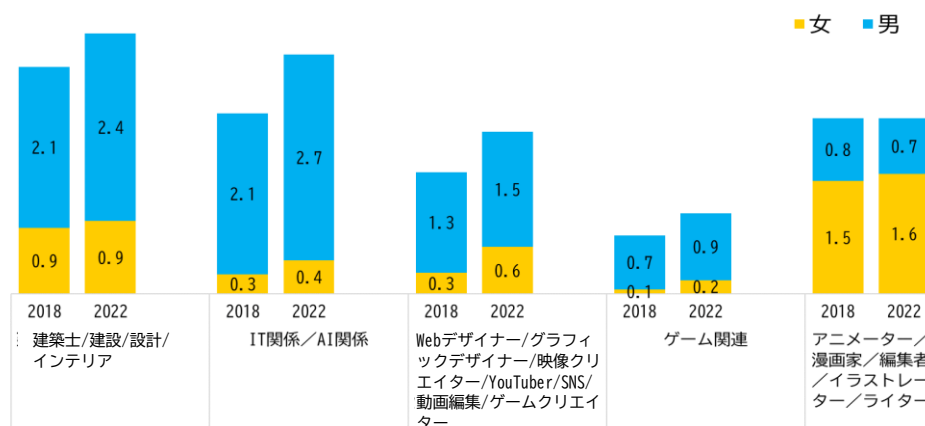
図 4. 保育・教育の職業（アフターコーディングにより分類）

保育・教育関係全体では13.3%から11.3%まで減少したが、これは小学校・中学校・高等学校教員、科学者・研究者・大学教授等がそれぞれ0.1%、0.7%増加し、保育士・幼稚園教諭が5.4%から2.8%まで大幅に減少したことによる。OECDは、コロナ禍の危機により、世界中の教育システムが対面指導に代わる新たな手段を模索する必要に迫られ、オンライン指導・学習がかつてない規模で活用されるようになったと指摘した¹⁴⁾。

学校のオンライン化が進む中で、ICTを活用した教育の重要性が浮き彫りになり、コロナ禍で社会的意義や安定性が強調された背景からも、教育関連職への関心が高まったのではないかと考えられる。小学校・中学校・高等学校教員については、5.7%から5.8%へ0.1%の増加があった。コロナ禍を経た、2024年教員採用試験では、全国で計12万7,855人の志願者がいたが、こちらは前年度から4.5%減少しており、公立学校教員の志願者数は減少傾向にある¹⁵⁾。また、文部科学省が2023年に公表したデータによれば、小中高校の全てで採用倍率が過去最低を記録した¹⁵⁾。そのような中で、15歳の職業意識で教員の選択肢が減少せず増加したことは、公務員としての安定性や⁶⁾、学校閉鎖や学習の遅れが問題視され、教育の重要性を再認識させられたことが背景にあるのではないかと考えられた。

3-5. デジタル分野の職業の回答内訳

続いて、デジタル分野の職業の内訳をみると図5のようになった。

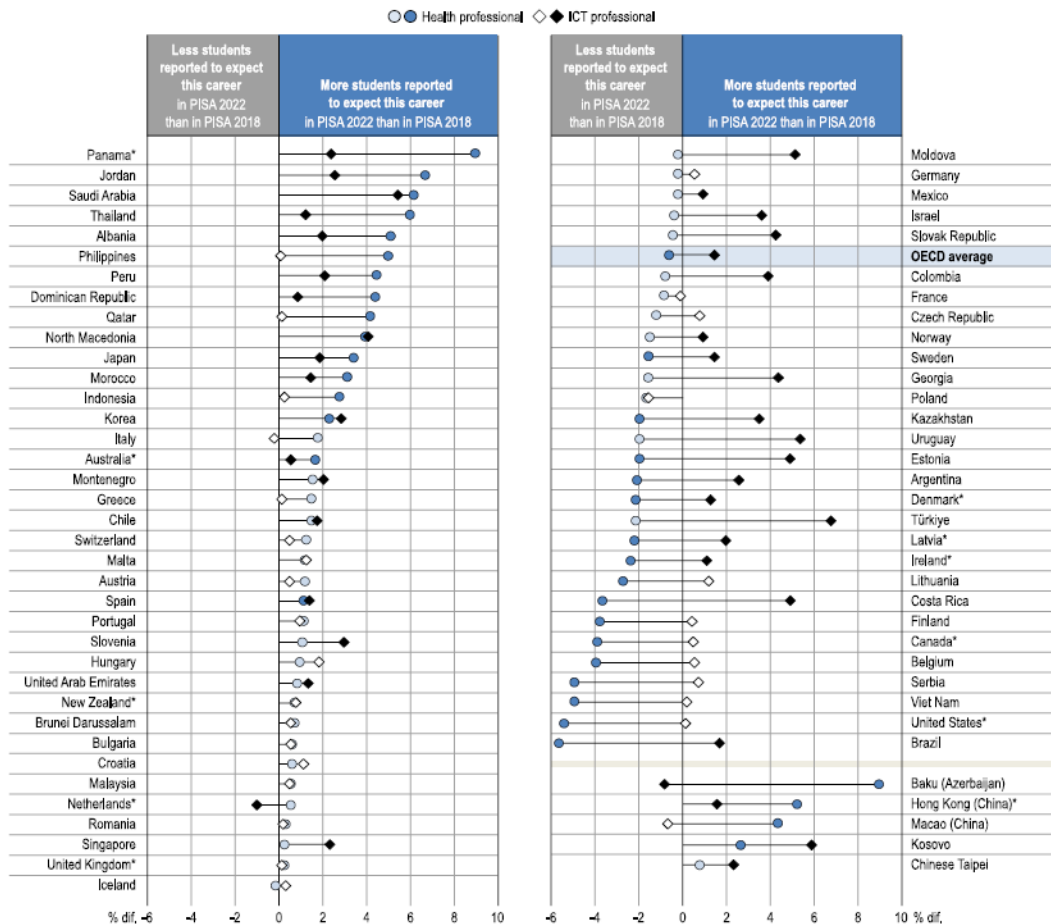


※PISA2018の総記述数5,138件、PISA2022の回答数5,094件

図5. デジタル分野の職業（アフターコーディングにより分類）

PISA2018と比較しデジタル分野の職業を記入した生徒が大幅に増加した。本分野の共通点は、パソコンやデジタルツールを活用すればリモートワークが可能な職業といえる。コロナ禍でオンラインコンテンツ需要の拡大し、リモートワークが一般化したことから、場所や時間に縛られない自由な働き方が可能なクリエイティブ職が注目されるようになったことが背景にあると考えられる。国内のパソコン出荷台数も、政府主導のGIGAスクール構想と、リモートワークという特需により、2020年度に前年比127.5%という大幅な伸長を記録している。このようにコロナ禍は、従来の働き方を大きく見直す契機となった。

Percentage-point change of students who expect to work as the following when they are about 30 years old



Notes: Only countries and economies with available data are shown.
 Statistically significant differences between PISA 2018 and PISA 2022 (PISA 2022 – PISA 2018) are shown in a darker tone (see Annex A3).
 Countries and economies are ranked in descending order of the change between 2018 and 2022 in the percentage of students who expect to work as a health professional.
 Source: OECD, PISA 2022 Database, Annex B1, Chapter 2.

図 6. OECD 報告書による 30 歳の時の職業分析 (OECD 報告書より) 12)

3-6. 自分のやりたい仕事、人の役に立つ仕事

PISA2022 年では、設問文「あなたは 30 歳くらいになったら、どんな職業についていると思いますか。職業の名称を入力してください。」に加え、「またはその職業でどんな仕事をしようとしているかを、具体的に書いてください。」が加えられた。そのため、PISA2018 の回答と比較し、生徒の記述量が増えている。その中で、「自分のやりたい事・達成感のある仕事」、「人と関わる仕事・人の役に立つ仕事・人が喜ぶ仕事」の記述が見られた。「自分のやりたい事・達成感のある仕事」の回答例は、「自分が楽しくできる仕事」「自分のしたい仕事」「その時にやりたいと思ったことをやる」「自分がやりがいを感じられる仕事 ブラックはやだ」といった記述を分類し、「人と関わる仕事・人の役に立つ仕事・人が喜ぶ仕事」は、「人と関わる仕事」「人を助ける仕事」「病気で苦しんでいる人を助ける」「人を笑顔にする仕事」といった記述を分類した (表 5)。

過去の調査結果との比較ができないため PISA2022 年単体での分析に留まるが、「人と関わる・人の役に立つ仕事・人が喜ぶ仕事」については、回答欄に「看護師」、「公務員」、「医師」等具体的な職種が併記されている回答が総回答数のうち半数近くあり、医療職、教育職を差し示す回答が多かったため、今後は経年での変化を分析することに加え、職業分類との比較も課題である。

表 5. 2022 年回答「自分のやりたい仕事・達成感のある仕事」、
「人と関われる・人の役に立つ仕事・人が喜ぶ仕事」の割合

	自分のやりたい仕事・達成感のある仕事		人と関われる・人の役に立つ仕事・人が喜ぶ仕事	
	n	(%)	n	(%)
女	19	0.4	86	1.7
男	17	0.3	40	0.8
男女不明	1	0.0	0	0.0
合計	37	0.7	126	2.5

4. 結論

本稿では、PISA2018 調査、PISA2022 調査の日本のデータを独自分析し、15 歳が考える「30 歳の時の職業」についてその傾向を調査した。2 か年の調査は、COVID-19 感染拡大の期間を経ており、生徒の職業意識の変化にはその背景がある可能性が示唆された。分野全体でみると、医療・看護・保健分野、教育職、デジタル分野への関心の高まりが特徴的であった。一方で、その内訳となる職種単体に注目すると、医師、保育士・幼稚園教諭への関心の低下が目についた。

今回、5,766 件の記述回答データを整理し、職業ごとの集計値を資料として示すところまでに留まった。そのため、今後の研究課題は、職種それぞれに対し、その背景要因を検討することが挙げられる。COVID-19 感染拡大との関連や、時代背景要因、個人属性等との関わりは、続いての研究として位置づけられる。

参考文献

- 1) Prudential Financial, Inc: Pulse of the American Worker Survey, Mar, 7, 2022, https://s203.q4cdn.com/639437276/files/doc_news/fact_sheets/2022/AWS-A-Third-Year-Begins-Fact-Sheet-FINAL.pdf (accessed 2025-12-2).
- 2) 『令和 3 年版国土交通白書』, 国土交通省編. https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r02/hakusho/r03/html/n1233000.html?utm_source=chatgpt.com (accessed 2025-12-21) .
- 3) 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査, 内閣府. <https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/index.html> (accessed 2025-12-21) .
- 4) 内閣府第 11 回税制調査会 (2022 年 5 月 24 日) 資料, コロナ禍による働き方の変化, <https://www.cao.go.jp/zei-cho/content/4zen11kai1.pdf>. (accessed 2025-12-21) .
- 5) 第 6 回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査, 内閣府. https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/result6_covid.pdf (accessed 2025-03-01) .
- 6) COVID-19 のパンデミックによるキャリア意識への影響—感染症脅威と経済的不安に着目して—, 産業・組織心理学研究, 37-1, 73-82, 2023.
- 7) マイナビ 2022 年卒公務員イメージ調査, マイナビ, https://career-research.mynavi.jp/reserch/20210304_5536/, (accessed 2025-03-01) .
- 8) 田中 理恵子, 向後 千春, 社会人の大学入学動機に対するコロナ禍の影響調査. 日本教育工学会論文誌 48-2, p285-296, 2024.

- 9) OECD, 若者と新型コロナウイルス感染症. https://www.oecd.org/content/dam/oecd/ja/publications/reports/2020/06/youth-and-covid-19-response-recovery-and-resilience_6f129a50/60b95194-ja.pdf?utm_source=chatgpt.com1 (accessed 2025-12-21) .
- 10) 島井 哲志, 前田 直菜緒. COVID-19 パンデミックに対するポジティブ心理学実践の展開, ストレス科学研究 37, 3-9,2022.
- 11) 独立行政法人労働政策研究・研修機構, 副業者の就労に関する調査, 2024. <https://www.jil.go.jp/institute/research/2024/245.html> (accessed 2025-12-21) .
- 12) OECD, PISA 2022. https://www.oecd.org/en/publications/pisa-2022-results-volume-i_53f23881-en.html (accessed 2025-12-21) .
- 13) 斉藤倫代, 新聞記事における看護師の表象-Covid19 状況下における看護専門職の描かれ方,「ソシオロジスト」(武蔵大学社会学部) 24, 233-251, 2022.
- 14) 学校閉鎖期間中のオンライン学習の拡充：新型コロナウイルス感染症危機時の生徒支援における家族と教員の役割© OECD 2020, Strengthening online learning when schools are closed - Jap version (accessed 2025-12-21) .
- 15) 文部科学省ホームページ, 令和 5 年度 (令和 4 年度実施) 公立学校教員採用選考試験の実施状況について, https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/senkou/1416039_00009.html (accessed 2025-12-21) .